

「木岡哲学対話の会」2020年度上半期（4月～9月）

予定表

開催日	出演者（所属）	テーマ	内 容
4.24	若森章孝 （関西大学経済 学部名誉教授）	「持続可能性」 の経済学と 21世紀の課題	経済的自由主義のもとで見落とされてきた、自然や社会の「持続可能性」の視点を経済学に導入した、ポランニーや宇沢弘文の思想を紹介しながら、21世紀の課題について考える。
5.22	大川哲次 （弁護士・よつば 法律事務所所長）	更生の道を拓く ：篤志面接委員の 30年	30年以上にわたり、「篤志面接委員」として、犯罪者や非行少年の更生に尽力してきた弁護士が、今日までの自身の生き方を顧みて信条を語る。
6.19	つどいの場 ゆずりは 代表	障がい者の 自立と支援 ：集いの場の意義	障がい者の自立と支援にとって何が必要かを、コミュニティの運営主体と参加者が語り明かす。AR など、最新テクノロジーの活かし方についても言及する。
7.24	梶谷真司 （東京大学総合文 化研究科教授）	哲学対話の 歩みと現在	『考えるとはどういうことか』（幻冬舎）で、新風を巻き起こした哲学対話の提唱者が、その理論と実践を語る。後半では、実際に哲学対話を体験する。
9.25	ロノ町一男 （チーム・アイ ・ジャパン 共同代表）	テクノロジーと 地域防災	日本の科学技術は地震災害の減災にどこまで備えているのか、私たちはそれらの情報をどうすれば地域防災に活用できるのか、について考える。

[注意]

- ・会場は、吹田市サクスホール第二会議室（JR吹田駅構内）。
- ・開催日時は、原則として、各月第4金曜18時～20時（6月は例外）。主催者・ゲストの事情、会場予約の都合等により、変更される場合があります。事前にお知らせします。
- ・参加費は、毎回500円（会場費・資料代）。
- ・世話人は、北原慎司（shinji-k69326@softbank.ne.jp）、藤田タケ子（fujiko@mstkikaku.com）両氏。会の趣旨やプログラムについては、木岡（n.kioka@s3.dion.ne.jp）まで、参加の手続きや会の運営については、世話人の両氏までお尋ねください。
- ・木岡伸夫の下記webサイトにも、本会の情報が掲載されています。

<http://kioka-tetsugaku.jp/>

## 出演者のプロフィール（出演順）

若森 章孝（わかもり ふみたか）

[略歴]

1944年 12月 浜松市生まれ

1970年 名古屋大学大学院経済学研究科修士課程修了

1971年 関西大学経済学部助手

1984年 関西大学経済学部教授

2014年 定年退任、関西大学名誉教授

[いま考えていること]

- ・資本主義に代わるシステムはあるか

[主な著訳書]

- ・『新自由主義・国家・フレキシキュリティの最前線 グローバル化時代の政治経済学』晃洋書房、2013年
- ・『壊れゆく資本主義をどう生きるか』（共著）唯学書房、2017年
- ・『資本主義に未来はあるか』（共訳）唯学書房、2019年

大川 哲次（おおかわ てつじ）

よつば法律事務所 所長弁護士。三重県尾鷲市生まれ。関西大学法学部卒。1975年、大阪弁護士会登録。1998年、大阪弁護士会副会長。公益法人全国篤志面接委員連盟常任理事。1988年から、ボランティアとして近畿地区の刑務所・少年院で、受刑者や非行少年に対し、更生改善のための篤志面接委員活動を行う。2016年春、藍綬褒章受章。2007年から、離島や被災地で、巡回法律相談会を実施。本業以外の趣味として、日本百名山登頂、海外103か国訪問、日本の温泉1980湯入湯、の実績がある。

つどいの場 ゆずりは

2015年7月設立。共同代表 高橋 ま里子、森田 啓子

【設立目的】障がいのある人たちの居場所作りと地域のコミュニティの場として、世代を超え、障がいを越え、誰でも交流できる集いの場とする。

【活動内容】2016年2月に建物が完成し、3月から活動を開始。

平日は水、木、金と第2日曜に開館し、主に地域の人とのふれあいの場として使用。毎月第4金曜日には、「大人のおしゃべり会」と称して様々な人々がお酒を酌み交わし交流。土日祝日は、障がい者と共に出来る取組を企画し、落語会・三線ライブ・唄おう会・変身まつり・クリスマスコンサートなどを実施。障がいのある人の料理会「作って食べよう会」は、毎月第4日曜日に開催。

【連絡先】〒564-0082 吹田市片山町1丁目4-7（JR吹田駅東口歩3分）

メールアドレス：yuzuriha.suita@gmail.com

ホームページアドレス：<https://yuzuriha-suita.jimdo.com>

### **梶谷真司 (かじたに しんじ)**

哲学者、東京大学大学院総合文化研究科・教授

1966 年生まれ。京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程修了。専門は哲学・医療史・比較文化。著書に『シュミッツ現象学の根本問題～身体と感情からの思索』（京都大学学術出版会・2002 年）、『考えるとはどういうことか～0 歳から 100 歳までの哲学入門』（幻冬舎・2018 年）などがある。近年は哲学対話を通して、学校教育、地域コミュニティなどで、「共に考える場」を作る活動を行っている。

### **口ノ町一男 (くちのまち かずお)**

防災士、現役時代は富士通（3 年間バルセロナ駐在）、日本 HP、三菱の 3 社でコンピューターサポート業務に従事、マネージャー、研修センター長などを経験。プレゼンや課題解決では表彰多数。定年退職後は教育現場で ICT サポートへ。その時の子どもたちとの絆が後押しとなり防災士資格取得（2013 年 8 月）へ、2015 年 9 月には「チーム・アイ・ジャパン」を結成、現在は各地で ICT を活用した地域の防災力向上の後方支援を展開、マンション防災、防災福祉を通じてインクルーシブ防災推進に重点を置いた活動を行っている。言語情報を図解化する事に興味を持つ 1949 年大阪市生まれの 70 歳。